

長野美術専門学校
令和3年度事業報告書

学校法人クリエイティブA

I 法人の概要

1 建学の精神

人間に生きる歓喜（よろこび）と希望をもたせ続けてきたのは音楽と美術の力である

2 理念体系

(1) 教育理念

創造性の育みを以って豊かな社会形成に資する

(2) 信条

クリエイティブこそ社会形成の要である

(3) 教育目的

創造性の育み

(4) 育成人間像

目的に対し自由な精神で立ち向かう主体性を持った人間

(5) 使命

学生への最良の通過点の提供

3 沿革

1946.04 村田美術研究所を長野市に開設

1953 村田絵画研究所を併設

1964 長野市北石堂町にアトリエを新設 ※ここまでが、個人立絵画教室

1970.10 長野県知事より私立村田美術学校認可※公認の各種学校

学校長に村田武次就任

設置学科 造形科 絵画コース（2年制）/デザインコース（2年制）

1976.04 専修学校文化教養専門課程認可※専修学校専門課程として認可を受ける

1978.04 長野市岡田町に校舎新築移転 長野市岡田町8-1-9

1978.09 長野美術専門学校に名称変更

1981.09 造形科にレタリング・写植コース（1年制）を設置

1988.03 造形科レタリング・写植コース（1年制）を廃止

1991.12 創立20周年記念事業

1995.10 学校法人村田学園認可※個人立から法人立へ、公の学校としての位置付けを強くする

初代法人理事長に村田武次就任

1997.09 長野市中御所1丁目10-10に新校舎新築移転

1998.04 学科構成等変更

造形科へ建築デザインコース（2年制）を設置

研究科（1年制）設置

- 1999.03 別館「蔵」の増設
建築デザインコースは国家資格に係る学科であり、その設置条件を満たすための増設
- 2000.04 学校長に村田道子就任
- 2001.04 創立 30 周年記念事業
- 2002.03 学科構成等変更
造形科建築デザインコース（2年制）を廃止、
造形科デザインコース（2年制）、絵画コース（2年制）を統合し、造形科（2年制）とする。
- 2004.04 学校長に村田陽就任
- 2004.04 学科構成等変更
研究科（1年制）を2年制に変更
造形科をビジュアルデザインコース（2年制）、ビジュアルデザイン特修コース（2年制）に分ける。京都造形芸術大学通信教育部の併修制度を開始（特修コース）
※特修コースは主に進学を考える学生のためのコースとして設置された。
- 2005.10 法人理事長に村田陽就任
- 2005.10 学校長に小林勝彦就任
- 2007.04 学科構成等変更
造形科 ビジュアルデザインコース（2年制）及びビジュアルデザイン特修コース（2年制）2年次に映像授業開設
- 2007.04 学科構成等変更
造形科 アート・コミュニケーション科（1年制）開設
- 2007.07 法人理事長に小林勝彦就任
- 2009.04 学科構成等変更
造形科 ビジュアルデザインコース（2年制）及びビジュアルデザイン特修コース（2年制）に Web デザイン専攻・映像デザイン専攻を新設
アート・コミュニケーション科に2年制コースを設置したため、アート・コミュニケーション科1年制コース・2年制コースとする
- 2010.04 学科構成等変更
造形科 ビジュアルデザインコース（2年制）とビジュアルデザイン特修コース（2年制）を統合し、ビジュアルデザイン科（2年制）とする
- 2013.04 全学科単位制へ移行
美専修学ラインの設定
デザインライン／ドローイングライン／アートライン／映像ライン
- 2014.03 ビジュアルデザイン科2年制 職業実践専門課程認定
実践的な職業教育を高い質で確保している学校として「職業実践専門課程」法制化初年度に認定される
- 2015.04 学科構成等変更
ビジュアルデザイン科3年制を開設

- ビジュアルデザイン科はビジュアルデザイン科2年制に名称変更
- 2016.04 法人名称変更
「学校法人村田学園」を「学校法人 クリエイティブ A」に変更
C I（キャンパスアイデンティティ）の確立へ
学科名称変更
アート・コミュニケーション科1年制をビジュアルアート科1年制に変更
アート・コミュニケーション科2年制をビジュアルアート科2年制に変更
- 2016.04 学科構成等変更
美専修学ラインの充実を図る
アニメキャラクターライン（新設）／デザインライン／イラストレーションライン（ライン名変更）／ファインアートライン（ライン名変更）／映像ライン
- 2016.12 新キャンパス建設着工
- 2017.08 新キャンパス竣工
- 2019.04 研究科をプロジェクトデザイン工科へ名称変更
- 2019.07 サテライトキャンパス設置 長野県長野市中御所 森ビル新館1F
- 2020.03 ビジュアルデザイン科3年制 職業実践専門課程認定
- 2020.03 ビジュアルアート科1年制廃止
- 2020.04 美専修学ラインに「WEBメディアライン」を新設
- 2021.03 プロジェクトデザイン工科廃止
- 2021.04 com. デザイン総合学科設置
- 2021.04 履修証明プログラム設置

4 設置する学校

学校名	長野美術専門学校			
設置者	学校法人クリエイティブA			
郵便番号	380-0935	所在地	長野県長野市中御所1丁目10番10号	
電話番号	026-227-3229	FAX番号	026-227-3235	

5 設置する課程・学科・修業年限

課程	学 科 (単位制)	修業 年限	卒業に必要な単 位数及び時間数		称号
			単 位数	時 間数	
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科2年制	2年	62	1700	専門士
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科3年制	3年	93	2550	専門士
文化教養専門課程	ビジュアルアート科2年制	2年	62	1700	専門士
文化教養専門課程	com. デザイン総合学科	4年	124	3400	高度 専門士

6 学科等の入学定員、収容定員、入学者数、在籍者数 (単位：人)

課程	学科 (単位制)	定員	入学状況			4月 開始時
			入学 定員	入学 志願 者数	入学 者数	
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科2年制	50	25	19	18	48
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科3年制	30	10	11	10	17
文化教養専門課程	ビジュアルアート科2年制	30	15	17	16	30
文化教養専門課程	com. デザイン総合学科	20	5	0	0	0
合 計		130	55	47	44	95

7 役員・評議員・教職員の概要

(1) 役員概要

定数・人数・任期	区分	職名	氏名	
理事 定数6人 平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	第1号	理事長	小林 勝彦	長野美術専門学校校長
	第2号	理事	松本 直樹	長野美術専門学校副校長
	第3号	理事	松田 光平	市議会議員
	第3号	理事	伊東 工	映像制作会社代表
	第3号	理事	増澤 珠美	イベント運営団体代表
	第3号	理事	岡田智津子	デザイン制作会社代表
監事 定数2人 平成31年4月1日～ 令和5年3月31日		監事	瀬下 良幸	デザイン業自営
		監事	西澤 和博	デザイン制作会社役員
評議員定数13人 平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	13人			
顧問	2人			

(2) 教職員の概要

職名	本務・兼務の別	勤務体制	合計(人)
校長	本務	常勤	1
教員	本務	常勤	6
教員	兼務	非常勤	23
連携企業派遣講師	兼務	非常勤	4
職員	本務	常勤	3

(3) 理事会・評議員会の開催状況

①令和3年度理事会の開催状況は以下のとおりです

令和3年5月29日 定例理事会

令和4年3月26日 定例理事会

②令和3年度評議員会の開催状況は以下のとおりです。

令和3年5月29日 定例評議員会

令和4年3月26日 定例評議員会

II 事業の概要

1 当該年度の事業の概要

令和3年度の事業計画にあたって、教育内容をより多様化し、より多くの修学動機に応じて行くとし、又、これからの社会形成においては、「質」と「実」においてどのような価値を見出すかを最重要課題としてきたが、これは中長期事業計画によるもので、以下の報告はその執行概要である。

本年度の事業計画のひとつ、本校独自の教育課程システム「美専修学ライン」を合計7つのテクニカルラインとして拡張し、アート部門の学科充実を図るため、令和4年度より現行6つのラインに加え「マンガライン」を新たに設置し、令和5年度より、ビジュアルアート科3年制学科設置に向け、検討をはじめた。さらに、上級学科として設置した「com. デザイン総合学科」の卒業時の称号を「高度専門士」として申請し、令和3年度において認められた。

広報においては、入学制度の改革をおこない、従来の入試枠に指定校推薦を加えるなど、入学募集活動を促進していった。又、広報企画の拠点として設置したサテライトキャンパスにおいては、本校が既に持つ、授業内容・社会学連携活動・学生作品・卒業生の活躍等資産を、いかに広報できるかが重要であるとの意識の基に機能させていくことを目標に、ギャラリースペースにおいて、卒業生による企画展を数回行い、同窓会との結びつきを強化することができた。

リカレント教育においては、地域の商業団体と連携し、商業界ゼミナール長野同友会セミナー「デザイン思考の学び合い」（全4回）を開講、また、文科省の「キャリア形成促進プログラム」制度の認定を目途に「履修証明プログラム」を設置。本プログラム内に「実践的デザイン基礎コース」を設け、修了生（1名）を輩出した。

2 主な事業の目的・計画・計画の進捗状況

(1) 教育課程

①各学科の修業年限、卒業に必要な単位数及び時間数

※I—5設置する課程・学科・修業年限 参照

②学科方針

課程	学科	学科方針
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科 2年制	視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得 デザイン全般に関わる基礎力を養い、社会の要請に正しく応える力をつける
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科 3年制	視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得 デザイン全般に関わる基礎力を確実なものにし、自身で切り拓く力をつける

文化教養専門課程	ビジュアルアート科2 年制	幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得 制作や作品をとおし表現の可能性を広げ、社会へつなげる
文化教養専門課程	com. デザイン総合学科	クリエイティブの本来性を探求し、多様な領域で活躍できる能力の獲得 これからの社会を幅広いデザインワークでリードする力をつける

③教育課程の特色

本校の教育課程の特色として、クリエイティブ分野の専門性を将来につながる学びの“ライン”として設定している。これまでの「デザイン」「映像」「WEBメディア」「イラストレーション」「ファインアート」「アニメキャラクター」に加え、令和4年度には、新たに「マンガ」を設置し、教育課程の更なる拡充・高度化を前進させるため、検討がなされた。

尚、ビジュアルデザイン科には「デザイン」「映像」「イラストレーション」「WEBメディア」ラインが、ビジュアルアート科には「アニメキャラクター」「ファインアート」「マンガ（次年度設置予定）」ラインの科目が、com. デザイン総合学科には、主に「デザイン」「映像」「イラストレーション」「WEBメディア」ラインが主に配当されている。

又、各“ライン”には、基礎を修得する「ベーシック」、オリジナリティを獲得する「パーソナル」、そして実践的な「プロフェッショナル」の3つのキャリアステージがそれぞれ設定されており、各ステージに応じて科目が構成されている。

修学期においては、年間の内4月～6月を「基礎履修期／さまざまな専門分野基礎的な科目を履修することができる」、7月～10月をゼミ期／それぞれの専門性に特化したライン別のゼミを展開、11月～3月を「総合制作期／年間の学びのまとめの期間、専門ラインごとの集大成となる制作に取り組み、年度末には総合制作展（美専展）で一般公開する」とし。総合制作を目指した学びの流れとしている。

本年度の教育課程運営は「新型コロナウイルス感染症」の影響が大きく、危機管理委員会を頻繁に開き、教育課程運営の指針とした。予定していた連携授業や地域貢献への学生動員など断念せざるを得ないものもあったが、遠隔授業や校内の人数制限、教室使用後の消毒等感染予防対策により、新たな授業形態や教務運営の見直しが進み、zoomを使用した遠隔配信授業や、複数教室をまたぐ分散型授業、Google クラウドの活用による出欠管理や課題の出題提出管理など、新しい教育課程運営へと進化ができたものと受け止めている。

(2) 連携学習

当年度の協定を交して行った企業等との連携学習は下表のとおり。

科目名	学習内容・テーマ	連携先企業・団体 ※敬称略	形態	実施日
キャリアデザイン A	会社見学・先輩へのインタビュー	株式会社アドイングロ 大日本法令印刷株式会社 ソルトライブホールディングス株式会社 有限会社アイデア 株式会社ながのアド・ビューロ	企業内研修 コロナの影響で未協定	2021年 10月～11月
キャリアデザイン B	コロナの影響で未協定	各所、履修生個別に対応	会社見学・会社ガイダンス	2021年 4月～8月
インターンシップ A・B	現場・実務の学び	株式会社 Hi-Bush (2021年7月-8月) 有限会社アイデア (2021年7月) クリエイティブファクト株式会社 (2021年7月-8月) 株式会社 りんごの木 (2021年7月-8月) ダンクセキ株式会社 (2021年7月) 株式会社 ロジェインターナショナル (2021年7月) 株式会社 アドイングロ (2021年7月) POLA (2021年7月) 株式会社 エイジェック (2021年7月)	企業内研修 コロナの影響で未協定	2021年 7月-8月
ムービーメイキング	科目担当授業	有限会社 アドフォート・トリム	講師派遣	2021年 4月～6月 9月～11月
6次デザイン	科目担当授業	長野県デザイン振興協会	講師派遣	2021年 4月～7月
	地域観光における媒体利用の実習(観光PRツール制作) 道の駅しなの広報ツール・商品パッケージデザイン制作	信濃町ふるさと振興公社	実習	2021年 4月～7月
ブランドマネジメント	科目担当授業	株式会社 りんごの木	講師派遣	2021年 4月～7月
ライン別ゼミ	人権啓発ポスターデザイン	長野県県民文化部人権・男女共同参画課	講師派遣	2021年 7月～10月
	人権学習(制作テーマ)	長野県県民文化部人権・男女共同参画課	講師派遣	2021年 7月
	道の駅しなの広報ツール・商品パッケージ	信濃町ふるさと振興公社	実習	2021年 7月～10月

	ージデザイン	長野県デザイン振興協会	講師派遣	2021年 7月～10月
		株式会社トドロキデザイン	実習	2021年 7月～10月
	山形村 郷土愛育成 事業 リーフレッ ト・ノベルティデザ イン	山形村	実習	2021年 7月～10 月
映像表現	科目担当授業	株式会社ズズザウルス	講師派遣	2021年 5月

(3) インターンシップ

当年度設定したインターンシップの受け入れ先は下表のとおり。新型コロナウイルス感染症の影響により、受け入れ先を縮小した。

受入先企業名（敬称略・順不同）
株式会社アドイングロ／有限会社アドフォート・トリム／クリエイティブファクト株式会社／株式会社マルサン工芸

(4) 各種検定

当年度設定した検定の実施結果は下表のとおり。

検定種	ビジュアルデザイン 科3年制			ビジュアルデザイン 科2年制			ビジュアルアート科 2年制		
	受験	合格 認定	合格率	受験	合格 認定	合格率	受験	合格 認定	合格率
レタリング検定3級	10	6	60.0%	16	8	50.0%	9	5	55.6%
レタリング検定2級				1	1	100%			
色彩士検定3級	9	7	77.8%	17	16	94.1%	14	14	100%
Illustrator クリエイター 能力認定試験	1	1	100%	22	17	77.3%	11	5	45.5%
Photoshop クリエイター能 力認定試験	1	1	100%	23	15	65.2%	12	3	25.0%
日本語検定3級	8	6	75.0%	17	13	76.5%	14	9	64.3%
美術検定4級	1	1	100%	7	7	100%	11	9	81.8%
ビジネス能力検定ジョブパ ス3級	1	1	100%	30	25	83.3%	13	6	46.2%
フォトマスター検定3級	2	1	50.0%	13	6	46.2%	7	2	28.6%
ブランドマネージャー資格 検定3級	1	1	100%	7	6	85.7%			

(5) クリエイティブプロジェクト

社会に向け創造性教育の必要性そのものを伝えるべく、専門課程の教育活動の枠を超え様々なクリエイティブ企画を推進している。

①クリエイティブフラッグプロジェクト

デザイン・アートは社会に大きな役割を担うことをアピールし、クリエイターの活躍の場を広げる。デザイン・アートの力により社会を彩るプロジェクト。様々なビジュアルで彩ったフラッグを制作し、町を彩る。

本年度の主な使用は 年度内 長野美術専門学校敷地周辺（オープンキャンパス開催時）

②美専展 2022

美専展は学生の総合制作を公開する授業目的のプロジェクトであるが、社会に向けた創造性教育の必要性を伝える目的により、当該年度の教育課程において企業等との連携活動による成果物の公開を学校側により行う。学生と学校との協働展となっている。

開催日時	令和4年2月25日（金）～ 27日（日） 10:00～18:00 ※初日開始 14:00。最終日 14:00 まで 内覧会：2月25日（金）10:00～12:00
開催場所	北野カルチュラルセンター
構成	学校：連携学習の成果報告 学生 86名：総合制作作品の展示
会期中の来館者のべ人数	478名 （25日/108名、26日/208名、27日/162名）

3 入学志願者数・受験者数・合格者数等の入学試験に関する状況

月	日	曜日	試験種別
7	31	土	AO選考 学習体験1
8	28	土	AO選考 学習体験1
10	23	土	指定校推薦
10	23	土	第1回自己推薦選考
11	13	土	第2回自己推薦選考
12	11	土	第3回自己推薦選考
1	22	土	第1回一般選考
2	19	土	第2回一般選考
3	12	月	第3回一般選考
3	28	月	第4回一般選考個別①
4	1	金	第4回一般選考個別②

選考結果

(単位：人)

学科	志願者数	受験者数	合格者数	令和4年度 入学者数
ビジュアルデザイン科2年制	17	17	17	15
ビジュアルデザイン科3年制	6	6	6	6
ビジュアルアート科2年制	23	22	22	21
com. デザイン総合学科	1	1	1	1
合 計	47	46	46	43

4 卒業生数・修了者数・称号授与数等の状況

(単位：人)

課 程	学科名	4月 開始時	休学	退学	卒業	転学科	3月末 在籍者
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科 2年制	48	0	2	26	0	20
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン 科3年制	17	2	0	5	0	12
文化教養専門課程	ビジュアルアート科 2年制	30	1	2	14	0	14
文化教養専門課程	com. デザイン総合学 科	0	0	0	0	0	0
合 計		95	3	4	45		46

特別な課程	受講者数 (人)	修了者数 (人)
履修証明プログラム	1	1

5 学生の就職・進学状況

卒業生45名のうち、就職を希望した者は29名で、その内就職した者は26名であった。希望者に対する就職率は89.7%となった。

科	卒業生数 (人)	就職希望 者数 (人)	内就職者数 (率)	進学希望 者数 (人)	内進学 数 (人)
ビジュアルデザイン科2年制	26	19	16(84.2%)	0	0
ビジュアルデザイン科3年制	5	3	3(100%)	0	0
ビジュアルアート科2年制	14	7	7(100%)	0	0
com. デザイン総合学科	0	0	0	0	0
合 計	45	29	26(89.7%)	0	0

特別な課程	修了者数 (人)	就職者数 (人)	就職率
履修証明プログラム	1	1	100%

6 基幹委員会運営

(1) 自己点検・評価委員会

教職員・講師及び卒業生へのアンケートを実施し、その分析を踏まえ令和2年度における自己点検評価を行った。

役職名	氏名	所属・役職	開催日
委員長	小林 勝彦	校長	令和3年9月22日(木)
委員	松本 直樹	副校長	
委員	小林 理砂	総務長	

(2) 教育課程編成委員会

専攻分野に関する企業、関係施設、関係団体等との連携による専門分野の動向や必要となる知識・技術・技能について、本委員会にて把握・分析し、授業科目の設置や授業方法の改善策を策定することで、本校の専門課程における実践的な職業教育の教育課程の編成に反映させることを目的としている。

開催日 第1回 令和3年11月25日

第2回 令和4年2月24日

役職名	氏名	選任区分	所属
		委員会規則 第4条	
委員長	小林 勝彦	4号	長野美術専門学校 学校長
委員	辻 圭介	1号	長野県デザイン振興協会 事務局長
委員	安達 浩平	3号	株式会社ロジェインターナショナル
委員	寺島 克己	5号	長野美術専門学校 ライン主任代表
委員	本藤 佳代子	5号	長野美術専門学校 com. デザイン総合学科学科長
委員	轟 久志	5号	長野美術専門学校 ビジュアルデザイン科3年制学科学科長
委員	相澤 徳行	5号	長野美術専門学校 ビジュアルデザイン科2年制学科学科長
委員	鴨林 朱実	5号	長野美術専門学校 ビジュアルアート科2年制学科学科長
委員	塚田 佳子	5号	長野美術専門学校 キャリア指導主事

(3)学校関係者評価委員会

本校と連携授業等で関係している企業や学識経験者、本校学生保護者、卒業生から選ばれた委員による学校関係者評価委員会を設置し、本校の自己点検・評価の結果が適切かどうか、またその結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか等の評価を行い、今後の学校運営改善のための参考としている。

開催日 令和3年11月4日

役職名	氏名	選任区分	所 属
		委員会規則 第4条	
委員長	松 井 秀 夫	1号	NPO法人夢のデザイン塾 副理事長
委 員	基 井 照 明	2号	株式会社日商印刷 専務取締役
委 員	松 本 政 憲	2号	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
委 員	宮 崎 憲一郎	4号	令和3年度在校生保護者
委 員	塚 田 富 芳	5号	卒業生

7 教職員研修

本校教職員研修規則に定める教員研修は、専攻分野の専門性の学びについて、学生の就職先などの進路への通用性や分野動向への対応性及び職業人として求められる人間力を教員自身が調べ、学び、企業等の人材需要に応じていくために企業等との連携により実践性を踏まえて行なう。

また、職業人育成のための教育的知識・指導力を高める目的により、本校の教育活動に適した教育理論や技術の研修を行なう。研修の取り組みにあたっては、教科運営を行なう立場から教務部署がこれらの目的を賄う成果をあげるため、教科会、主任会、職員会等に働きかけ学校全体としての活動となるよう先導するものとしている。本年度も「新型コロナウイルス感染症」感染予防の措置として、本校開催研修においては遠隔による講義や、研修者の ZOOM による参加も可とし、研修自体が中止とならないよう対策を講じた。

目的	研修内容・テーマ	研修先又は講師派遣先	形態	研修日
指導力向上	「人材育成に活かす地域の歴史」	百瀬 民明 氏 前 学校法人黒木学園 専門学校カレッジオブキャリア校長 前 長野市専修学校各種学校協会会長及び長野市社会教育委員長	講師招聘 (ZOOM 受講可)	令和3年 10月28日
技術力向上	「キャラクター等グッズ製造におけるデザイナー育成」	有限会社アイデア 課長 関 剛一 氏	実地研修	令和3年 12月16日

8 付帯事業

本校に設置する付帯事業については以下のとおり。

ながのこども美術学校

小学生の自我の確立へ向かう発達期に合わせ、バランスのとれた人間性の育成のために、美術による教育「美育」の活動を下表により行った。又、この講座は、本校の教科科目「美術学習論実習」を選択した学生へ指導法を学ぶ授業としても設定されている。

本年度においても、講師の調整ができず、幼児クラスは休講とした。

クラス	開講時間	開講数 ／月	入校金 入校時 (1家庭)	受講料／ 月	担当講師 (敬称略)	受講者数 (年間のべ) 単位：人
幼児 (3～6才)	10:00～ 11:30	2回	5,000円	3,640円	休講	0
小学校低学年 (1～3年生)	14:00～ 16:00	2回	5,000円	4,360円	小林 勝彦 鴨林 朱実 松本小百合	19
小学校高学年 (4～6年生)	14:00～ 16:00	2回	5,000円	4,360円	矢作 恵 青木 忠史	14

9 地域貢献

(1)学べるキャリア出張講座（長野県専修学校各種学校連合会主催）

長野県専修学校各種学校連合会が専修学校・各種学校の職業教育についての経験やノウハウ、人材を生かし、小学生・中学生・高校生・一般社会人を対象に、キャリア教育・生涯学習の一端を担い、その向上に資することを目的として設置している。本校は当年度下表のように、協力致した。

月日	講座テーマ	担当講師	出張先
令和3年5月20日(木)	プロが教える！自分だけの ロゴ&マークデザイン	相澤徳行 矢野瑞萌	地球環境高等学校
令和3年6月15日(火)	プロが教える！マンガ講座	ながはり朱実 小林駿	軽井沢町立軽井沢西部小学校
令和3年7月7日(水)	プロが教える！自分だけの ロゴ&マークデザイン	相澤徳行 矢野瑞萌	長野市立豊野中学校
令和3年7月8日(木)	プロが教える！マンガ講座	ながはり朱実 小林駿	塩尻市立広陵中学校
令和3年7月19日(月)	プロが教える！マンガ講座	ながはり朱実 矢野瑞萌	千曲市立埴生中学校
令和3年7月19日(月)	プロが教える！自分だけの ロゴ&マークデザイン	相澤徳行 小泉欣生	長野市立川中島中学校
令和3年8月4日(水)	プロが教える！マンガ講座	ながはり朱実 矢野瑞萌	SAKURA 松本中央センター
令和3年9月29日(水)	プロが教える！マンガ講座	ながはり朱実 矢野瑞萌	長野市立長野中学校

令和3年10月8日(金)	プロが教える！自分だけの ロゴ&マークデザイン	相澤徳行 矢野瑞萌	長野市立北部中学校
令和3年10月25日(月)	プロが教える！マンガ講座	ながはり朱実 矢野瑞萌	長野市立広徳中学校
令和3年12月17日(金)	プロが教える！マンガ講座	ながはり朱実 矢野瑞萌	長野市立東北中学校

(2)いきいき生涯学習

長野市専修学校各種学校協会が主催する「いきいき生涯学習」に、当年度は下表のように計画したが、新型コロナウイルスの域内感染拡大に伴い、中止と致した。

月日	講座テーマ	参加者数	担当講師
令和3年9月11日(土)	デッサン	—	大橋佳世子
令和3年9月11日(土)	写真	—	金井真一
令和4年2月5日(土)	デッサン	—	大橋佳世子
令和4年2月5日(土)	デザイン	—	相澤徳行

10 広報・学生募集活動

入学促進を含む広報活動全般と、企画事業推進

- 制作活動 学校案内、募集要項、各種 DM、広報物、広告物の制作
- 調査活動 新入生分析、入学対象者分析、募集状況分析、高等学校進路状況分析のための調査
- 渉外活動 高等学校等教育機関・企業等連携機関への訪問活動などを通じた関係強化を図った
(高等学校等年間訪問実績)

月 日	訪問目的(進路指導室、事務室)
4月下旬～5月上旬	新年度挨拶、AO入試の告知、指定校推薦入試の依頼
7月上旬～7月中旬	AO入試の告知(再度)・エントリー状況の報告、進路状況の把握
9月下旬	AO入試合格者の御礼、進路状況の把握
11月上旬～12月中旬	指定校推薦・自己推薦入試合格者のお礼、進路状況の把握
1月下旬～2月中旬	新年ご挨拶、一般入試合格者のお礼、美専展の告知
3月下旬～次年度	AO～一般入試合格者のお礼

- 資料送付「学校案内一式、オープンキャンパス DM(開催毎)」

対 象	時 期
高等学校・予備校	訪問活動に先立ち、都度送付(訪問活動でフォローアップ)
資料請求者	請求のあった時点で、都度送付
企業・団体	当年度学校案内が完成次第、一斉送付。学校案内のみ

「美専展 DM」は、上記対象に加え同窓会(卒業生)等に拡大して送付

○進学支援業者による進学説明会への参加

高等学校内やイベント会場で開催される進学説明会は、高校生に直接アプローチできる限られた機会であることから、機会を逃すことなく本校のクリエイティブの学びを紹介しながら、来校促進を図った。

○オープンキャンパス「自由見学会」の企画・運営

令和2年度より企画し継続実施してきた、新たなオープンキャンパス開催の在り方としての「自由見学会」が定着し、来場者へ安心感・満足感を提供した。

- ホームページ 本校情報発信の根幹
- ニュースレター配信 インターナル広報を内外に発信
- SNS、動画配信 多様な情報発信を行い、年代別の閲覧選択肢を広げる
(Facebook、Twitter、Instagram、YouTube、LINE)

○サテライトキャンパスの運営

街とつながる広報拠点である、サテライトキャンパスの運営を企画。社会学連携活動の常設展示、卒業生展や講師展、企業展などのギャラリー企画、授業の一環としての学生制作活動、ながのこども美術学校のクラス別開催、などを行った。

○クリエイティブプロジェクトの企画 「(仮称) イラコン!ながの2022」の開催を検討した

1.1 今後の課題

少子化もさることながら、高大接続改革をはじめとする大学を中心とした「教育改革」など、教育機関を取り巻く環境は刻一刻と変化している。こうした課題を踏まえて、昨年度より、永年、本学が現場で培ってきた教育指針を「3つのポリシー」(ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー)としてまとめ、掲げたが、これを元に、さらに本学のアイデンティティをより確かなものにしていきたい。

教育の多様化の視点では、マンガラインの令和4年度の設置、ビジュアルアート科3年制学科の令和5年度の設置を目指し、広く修学動機に対応していく。

リカレント教育の取り組みでは、文科省の「キャリア形成促進プログラム」制度の認定を目途に履修プログラムを設け、次年度の専門実践教育給付(厚生労働省政策)制度の対象となるよう実績を残したが、更なる発展を目指していく。又、社会に向け創造性教育の必要性そのものを訴えていくために、専門課程の教育活動の枠を超え、クリエイティブプロジェクトなどの企画を推進していく。

これらの施策にあわせ「新型コロナウイルス感染症」拡大による今般の動向とコロナ明けも踏まえた新たな授業形態も課題となっている。このような教育力の向上は、本校の経営持続につながるものだが、それにはこのことの内部自覚や外部認知が不可欠で、広報拠点(サテライトキャンパス)の機能促進、新規広報チャンネルの開発など、広報企画の充実策を有効な手立てとし、今後も事業計画、予算に反映しなければならない。

これらの課題を総合して取り組み、中長期的には選ばれる高等教育機関として定常入学者50名超を安定経営の指標として目指す。

III 財務の概要

1 財務概要の経年比較

経常収支差額がプラスに転じ、連続して前年度より減額することは避けられた。

年度	正味財産額（円）
平成 29 年度	97,023,021
平成 30 年度	111,777,751
令和元年度	100,979,766
令和 2 年度	91,781,870
令和 3 年度	94,205,949

2 当該年度の決算の概要

令和 3 年度の決算は、収入額が増加したことにより、経常収支差額がプラスに転じた。学生生徒納付金収入は昨年度より増額となったが、「修学支援新制度」の導入により、授業料の減免分を補助金にて補填する方式となったため、6,000,000 円あまりの授業料収入が、収入扱いではなく、補助金に計上されている。よって、補助金の額が予算より大幅に増えた形となっている。

支出については、人件費と広告宣伝費が膨らんだ。賃借料がかさんでいるのも、広報活動の拠点であるサテライトキャンパスの家賃であり、他に進学支援業者への年間契約による部分が多い。広報活動への支出が大きいのは、長期的視野に立って本校教育活動の継続性を担保するため、内部自覚と外部認識からアイデンティティを固めることが根本的な課題であるからで、その手段の重要な一つを広報としているからである。広報活動のうち、学校案内パンフレットデザインは通常他校などでは、外注して行っているが、本校ではこれを内部制作していることで支出を大幅に抑えている。これはホームページ運営に於いても同様である。

概略を予算に対しての達成率で示すと、収入では教育活動収入合計 108.46%、教育活動資金収支差額が 158.64%、経常収支差額 338.95%。支出についての達成率は、人件費 89.71%、教育研究費 141.70%、管理経費 92.39%となり、支出合計は 94.77%。次年度繰越資金の達成率は 90.71%となった。

今期、経常収支差額がプラスに転じたが、次年度が気がかりなところである。令和 3 年度に新たに設置した「履修証明プログラム」への次年度以降も修学者が見込めることや、同じく当年度に設置した 4 年制学科への入学者が既に決定していること、又、令和 4 年度においては学費の増額を設定するなど対応策を講じている。尚、令和 5 年度においてはビジュアルアート科に 3 年制を設置し、更なる対応策としている。

3 主な財務比率

事業活動収支計算書において、
教育活動収支収入の内訳は、学生生徒納付金収入は全体の 90.78%、補助金が 7.87%となる。
教育活動収支支出の内訳は、人件費が全体の 53.22%、教育研究費が 7.73%、管理経費が 39.04%となる。

教育活動外収支の内訳は、収入では受取利息が 100%、支出では借入利息が 100%となる。

4 主な施設設備の整備状況

引き続き環境の維持管理が主であった。学生用椅子等校具の補充や、カメラ・教務用パソコン等校具の補充に止めた。

建物付属設備及び構築物に予算額が計上されていたが、今期の支出は控えた。